

○ 会 議 録

会 議 名	令和５年度 第３回基山町まちづくり推進審議会			
開催年月日	令和６年１月１９日			
開催場所	基山町役場２階２０２会議室			
開閉会日時	開会	令和６年１月１９日 午後２時		
	閉会	令和６年１月１９日 午後２時４５分		
出席者並び に欠席者 出席９名 欠席０名	氏 名	出・欠	氏 名	出・欠
	渡瀬 浩介	出	原 則幸	出
	松隈 美津子	出	鳥飼 善治	出
	河野 保久	欠		
	品川 和子	出		
	古賀 徹	出		
	大山 美佐邦	出		
	福永 真理子	出		
会議録署名 人	渡瀬 浩介 大山 美佐邦 福永 真理子			

令和5年度 第3回基山町まちづくり推進審議会 会議録

1 4時開会

【事務局】令和5年度第3回基山町まちづくり推進審議会を始めます。

議事録作成のため、録音させていただきます。

本日、河野委員は諸事情によりご欠席のため、8名で開催します。

1. 会長挨拶

改めまして、ずいぶん遅くなりましたが（新年）おめでとうございます。

部活動地域移行という言葉はお耳にされているかと思いますが、これは戦後最大の教育改革の一つで、簡単にはいきません。学校から将来的に部活動を外して、地域にまかせるということで、今まずは週末地域移行が全国各地で進んでいるところです。私は武雄市・小城市・佐賀市で委員長（佐賀市は「座長」）をしており、一昨日、沖縄と北海道合同で九州数県の視察がありました。二者とも地域性が全く異なるものですから、取り組みも違ってきます。

一番の問題は財源確保です。佐賀ではまだ取り組んでいませんが、先進的な多くの市町で企業版ふるさと納税を活用する動きがあります。私も佐賀市長にすぐメールし、ここは行政に頑張ってもらわなければと伝えました。基山町も元々スポーツ庁のモデル地区としてスタートしておりますので、そろそろそういった形も見えてくるのかなと思っています。

佐賀市は「地域移行検討委員会」という名称にせず、まちづくりと絡めて進めていくうえで、「地域展開会議」という名称をつけて話し合いを進めています。たまたま今は部活動地域移行がありますが、やはり「地域と一緒に」ということがどれだけ重要なことか改めて感じながら、色々な事業を進めているところです。今年度2回の審議を経て、今日はある程度結論を出すことになると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

2. 署名人

議事録署名人について、会長と会長を除く委員2名の方に名簿順で担って頂く。

今回は、大山美佐邦委員と福永真理子委員にお願いする。

3. 議事

【会 長】議事に入ります。

事務局は、まちづくり基本条例の答申について説明をお願いします。

【事務局】それでは一番のまちづくり基本条例の方針についてご説明いたします。

前回の第2回審議会で答申案を示させていただきました。

その中で、町として具体的にどんなことを行うかなどを加えたほうが良いのではないかという意見をいただき、修正させていただいたものになります。事前に渡瀬委員長の方には目を通していただいておりますが、この提言内容にご意見をいただければと思っております。

具体的に申しますと、審議会からの答申として、今回の条例についての改正は必要ないということで前回ご意見をいただいております。

提言については、

(1) まちづくり事業の推進に関連する「まちづくり基金事業」について、基金事業の内容や「協働のまちづくり支援自販機」での購入が募金として基金事業の原資なることなど、分かりやすい周知に努め、町民の理解を深めるとともに、協働意識の高揚を図ること。

(2) まちづくりにおいて、基山町まちづくり基本条例の基本理念である「町民主役のまちづくり」を周知徹底し、町民の自主的な活動を支援するため、既に活動しているまちづくり団体の活動内容の情報提供やまちづくり基金事業及びコミュニティ助成事業等の活用についての相談や問い合わせのサポート体制の充実を図るとともに、現在取り組んでいるアダプト・プログラムをはじめとした町民が参加する協働事業の活動拡大に努めること。

このように修正しております。

【会 長】ここに至るまでに、いくらか文言の修正等を私の方でさせていただきました。今読み上げていただきましたが、もう一度委員さん方でご確認をお願いします。

【委 員】(2)について、資料4～6ページが現在行っている協働の事業と思いますが、提言中段に書いてある「既に活動しているまちづくり団体の活動内容の情報提供」は、こういうことを町民のみなさんに出すという意味で捉えていいわけですね。

【事務局】 はい。ここは具体的に書いた方が、いいのではということで、最後の2行「サポート体制の充実を図る」というところで一旦止めていたところ、私どもが仕事をさらに前に進めるためには、“今具体的に取り組んでいる協働のまちづくりで一番参加者が多いアダプト・プログラムのようなものをさらに広げていきなさい”と、委員の皆さんの意見を具体的に書くところなるんじゃないかということで書かせていただいております。内容につきましては今委員おっしゃられた通りでございます。今「これをやっていこう」というのが出ているわけではありませんが、町民の意見だったり、実際活動されている方やこれからやっていこうという人の支援だったり、そういうことを協働してやっていながら広げていきたいと考えております。

【委員】 本当に良いことだと思っています。順番から言うと基山町の基本理念「町民主役で協働のまちづくりをやっていこう」というのが一番の趣旨であって、町民もそうは言いながら、この協働の実際の事業をあんまり知らないとか…知っている方は知っているから、こういうことをやっているけども、知らない人は全然知らない。極端に言うなら役場が全部やるのではないかという感じに思っている人もいらっしゃる。でもボランティアであったり、委託事業であったり、アダプトであったり、こういう事例が見えてくると「ああ、こういうことが協働なんだな」ということで、自分たちもこれでやっていこうとか、やっぱり不満ばかりじゃなくて自分たちもできることをやろうとか、そういうところが一番この協働のまちづくりの趣旨だと思いますので、是非そういうことを広めてもらうことで、より良くなるのではないかと。

4. 答申書伝達式

渡瀬会長より答申書を読み上げのうえ、町長へお渡しした。

【町長】 まず、渡瀬会長をはじめ委員の皆様には、数回に渡って見直していただきまして、御礼申し上げます。いただいた提言の内容、特に運用上の提言にいたしましては、しっかり読み説いて提言の趣旨に沿う形で事業展開を図っていくことをお約束させていただくとともに、今後とも基山町のまちづ

くりにつきまして、会長および委員の皆様方のご支援とご協力、まさに協働でお願いしたいと思うところでございます。本日はどうもありがとうございます。

5. 報告事項

【会 長】報告事項について、事務局は説明をお願いします。

【事務局】ご説明します。

— 報告事項 令和5年度の共同化事業調査について 説明 —

【会 長】ただ今の報告で何か気になる点等あればご質問をお願いします。

【委 員】この内容を見たら「良いな」と思うのですが、実際これを情報提供する場合、どんな形に、広報に載せることになるのでしょうか。

【委 員】例えばこれ1回を載せたとしても、見る人は見ても、1年に1回ぐらいではなかなかまだ浸透しないのではないかと思いますので、もし可能であれば年に1回ぐらいは最低は…。どこまで載せるかちょっと考えなければなりません。

【事務局】似たような取り組みでいきますと、男女共同参画プランを令和2年度に改定して、それ以降毎月男女共同参画の記事を書き続けています。毎月とまではいかないとしても、活動を知っていただくというのは大事なことで、今答申もいただきましたので、広報を活用してこのことを広めていきたいと思います。

それから、まちづくり基金事業につきましては、発表の場を毎年3月に設けております。その理由としましては、直に町民の皆様には発表を見ていただきたいということと、その活動に賛同する方に活動をさらに一緒に広げていただきたいということで開催しております。中には団体同士が協力し合って新しい事業を生み出すというように、取り組みが進んでいる事例もございますので、まちづくり基金につきましては今後ともそれを続けていきたいと思っております。

せっかくですので、5ページ12番けやき台駅の管理業務、6ページ5番オキナグサの保護活動、これにつきましては令和5年度・4年度に取り組んできている最近の事例になります。けやき台駅の管理につきましては、駅

舎が無人になるということでJRからお話があり基山町とSGKが連携協定を結び、SGKが駅舎の管理をやっております。6ページの5番オキナグサにつきましては、新たにオキナグサ保存会という民間団体が発足されましたので、そこと基山町が連携しながら、保全活動やキザンの清掃活動をしています。今年は150人を集めて、企業の皆さんもたくさん参加していただいて、キザンの大清掃活動をしました。キザンには、オキナグサ、文化財、未来に残したい草原100選、草スキーといった、いくつもの魅力が複合しておりますので、今後も協働して取り組みを続けたいと思っております。こういうふう新しい視点で、掘り起こしもあると思いますが、新しい事業も増やしていきたいですし、今までやってきた団体ができなくなったところも何とかして違う形で続けていくことも新しい取り組みになると思いますので、答申に沿った形で頑張っていきたいと考えております。

【委員】周知に関しては、もちろんこの一覧表をどこかでというのも一つなんでしょうけれども、一つ一つの活動の例えばチラシを作ったりするときもありますよね。7ページ5番のきやま創作劇もそうですし、5ページ13番の生涯学習講座とか、その時々々のチラシにその「基山町協働事業」みたいな何か文言を一文どこかに入れるとか可能なわけですよね？その活動にもよりけりなのかもしれませんが、そんなのはどうかなと思ったりして。

【事務局】“町民主体”の意識付けという意味でおっしゃっていただいたと思いますので、そこは少し検討したいと思います。いろんな事業の中には、国の補助金やいろんな補助金を使って行い、ちゃんと「この事業でやってますよ」という事業名を入れるような事業もありますので、その横に書くなどですね。そういうのも担当とも話したいと思いますけれども、何かロゴを作ってみるなど、あんまり事業事業と書くより、そういう、感じが良いのがあれば研究したいと思います。

【会長】蛇足ですけど、私は佐賀市内に住んでいるのですが、首長の中にこれほどフェイスブックで情報発信している方は他にいないですね。ここにある事業のほとんどを私は町長のフェイスブックで知りました。これ以外にもエミューの料理がいろいろ出てくるなど、そういったのを町長だけではなく町で発信していくと、SNS時代ですからいいのではないかなと思ったところです。

【委員】例えばこの一覧表とかをどこかに掲示するならば、大体の日程とかがわかるところは入れていただけると、何かのときに周知のお手伝いとかもできるのかなと今思いました。「大体3月中」とかでもいいので、ちょっと組み込んでいただけると、より、見た方が「この時期にこういうことをやっているんだな」とわかるかと思います。

【事務局】事業のところですね。詳細にしたいと思います。

6. その他

【事務局】令和5年度の審議会については、皆様のご協力によって無事本日提言までいただくことができました。進行していただきありがとうございました。先ほど課長から発言がありましたけれど、3月にまちづくり基金事業報告会を行っておりまして、まちづくり基金事業団体に1年間の活動報告をしていただきます。また、講師をよんで「まちづくり勉強会」も行います。今年は3月13日の水曜日14時から町民会館小ホールで開催したいと思っております。委員さんには改めて文書で通知をさせていただきますので、ぜひ参加をいただければと思います。

7. 閉会

【会長】昨年5月に第1回目を開催して、9ヶ月があつという間に過ぎました。皆様のご協力により、微力ではございましたが、この立場を務めさせていただいたことを感謝いたします。どうもありがとうございました。

【課長】みなさま、本当にありがとうございました。（条例が）“4年を超えない範囲でまちづくり条例の見直しを検討すること”となっております。検討していく中で委員の皆様方からご意見をいただくとともに、改めて自分自身も発見がありました。掘り下げていきますと、進まない原因が思わぬところにあつたりですね。例えばPRの仕方につきましても、もっとわかりやすい“募金箱”という表現を委員の皆様からいただきました。そういう気づきを来年以降はしっかり実行に移していきたいと思っておりますので、また来年度も皆様のご協力をお願いしたいと思います。これをもちまして、令和5年度第3回のまちづくり推進審議会を閉会させていただきたいと思っております。本当にありがとうございました。

～14時45分閉会～

まちづくり審議会条例第6条の規定により、ここに署名する。

令和 6 年 2 月 19 日

会長 (氏名) 渡瀬 浩介

福永 真理子

大山 美佐邦